



行動方針

- 1. 選挙も議会の活動もに
力をも発揮せよ
- 2. 両院議員の両院を巡ることは
必要であることも忘るな
- 3. 以上を心に留めて
一生懸命に

恐るべし！
カナモトのクールズ

そーなんです。

今はビートル
じゃあないの？

も、
いーいやーい。

kanamoto examiner

カナモトエクサミナー

株主の皆様ならびに投資家の皆様へ

ちよっと！
動かない！
スーパークールビズなんだからー

vol.64

第49期(2013年10月期)第2四半期号

2Q

2013.2

IR 東証IRフェスタ2013に出展

2013.3

IR IRフォーラム2013大阪(ツバルの森主催)に出展

IR 第49期(2013年10月期)第1四半期決算短信発表

👤 事務職リーダーシップ研修を実施(事務職の社員29名が参加) 📷

IR ラジオNIKKEIの投資家向け番組「夕焼けマーケット 投資って楽しいねっ!」に出演

IR ラジオNIKKEI 3都市IRセミナー in 名古屋に参加

2013.4

👤 入社式/新人研修(今年度の新入社員は76名) 📷

🏠 新木場営業所と首都圏高所営業所が統合し、東京中央営業所としてリニューアルオープン



3Q

2013.5

👤 サンクスフェア2013: 江別を皮切りにスタート 📷

IR 札幌IR 個人投資家向け会社説明会(札幌証券取引所主催)に参加

👤 サンクスフェア in 北見を開催 📷

👤 サンクスフェア in とちぎを開催

2013.6

IR 第49期(2013年10月期)第2四半期決算短信発表

👤 サンクスフェア in 千葉、山形を開催

IR 【東京】第49期第2四半期決算説明会を実施 📷

IR ラジオNIKKEIの投資家向け番組「ザ・マネー 〜火曜日 櫻井英明のかぶとびら」に出演

👤 サンクスフェア in 岩見沢を開催 📷

👤 九州建産 サンクスフェア in 長崎営業所を開催

👤 サンクスフェア in 帯広を開催

IR ラジオNIKKEI 3都市IRセミナー in 札幌に参加

2013.7

IR 札幌IR 個人投資家向け会社説明会 in 帯広(札幌証券取引所主催)に参加

🏠 長嶋茂雄 INVITATIONAL セガサミーカップゴルフトーナメントに協賛

👤 サンクスフェア in 苫小牧、盛岡を開催

IR ラジオNIKKEI 沖縄IRセミナー 7/13(土)

👤 カンキ サンクスフェア in 神戸西営業所 7/14(日)

👤 サンクスフェア in 函館 7/20(土)~21(日)

🏠 道新・UHB花火大会に協賛 7/26(金)

👤 第一機械産業 サンクスフェア in 大隅営業所 7/26(金)~27(土)

👤 サンクスフェア in 富山 7/27(土)・湘南 7/27(土)~28(日)



とってもいいモノ・読者プレゼント

巻末のアンケートハガキをご返送いただいた方の中から、抽選で30名様にカナモトオリジナルグッズをお贈りします。

今号のプレゼントは、カナモト坊やのスポーツタオルです。ほどよいボリューム感で吸水性もよく、使い勝手のいいサイズだからスポーツに、お風呂にとさまざまな用途でお使いいただけます。📷

ご応募の締め切りは8月9日(当日消印有効)です。

なお、当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。



当社では毎期IR活動に注力しており、今期も積極的に展開中です。第2四半期には2月の東証IRフェスタ2013(於：東京国際フォーラム)、3月のIRフォーラム2013大阪(ツバルの森主催)やラジオNIKKEI 3都市IRセミナー in 名古屋など、各地のIRイベントに参加いたしました。

第3四半期に入ってから5月18日開催の札証IR 個人投資家向け会社説明会のほか、6月30日にラジオNIKKEI 3都市IRセミナー 札幌、7月4日には帯広で開催された札証IR 個人投資家向け会社説明会と立て続けに参加。また、より広く情報発信をするためラジオNIKKEIの投資家向け番組にも出演するなど、多様な場で広報



名古屋で開催されたラジオNIKKEIのIRセミナー(左)と5月の札幌IR 個人投資家向け会社説明会(右)

活動に努めております。

当社はこれからもステークホルダーとのコミュニケーションを大切にしたいと考えています。また、PR活動も積極的に展開してまいります。PR活動は、広く「カナモト」をPRしてまいります。

毎年の恒例行事「カナモトサンクスフェア」が、今年も北海道を皮切りにスタート。すでに北海道、東北、関東の各営業所で開催し、多くの地元の方々にお越しいただきました。

残すところは7月の函館、富山、湘南と9月の旭川、そしてグループ企業のカンキと第一機械産業が開催する感謝祭です。ミニ建機や仮設ユニットハウスの即売会のほか、屋台や遊具、建機の試乗体験など皆様にお楽しみいただける企画をご用意しておりますので、お近くで開催する際はぜひご来場をお願いいたします。



各地の営業所で開催されたサンクス
フェアの様子。左上から時計回りで
北見、とちぎ、千葉、岩見沢



■ カナモト営業所 ■ グループ企業各社 ■ 開催終了

7月 July



7/6

盛岡営業所

7/6

苦小牧營業所

7/14

神戸西営業所

7/2

函館營業所

7/2

富山営業所

7/

湘南営業所

7/26~27

第一機械産業
大隅営業所

9月 September



9/7.

旭川営業所

9/7~8

第一機械産業
株式会社

当社ホームページでも開催情報をご案内しております。

www.kanamoto.co.jp

※開催日は予定となります。諸般の事情で変更となる場合がございます。お越しの際は、事前に右記ホームページでご確認をお願いいたします。

東日本大震災の対応⑧——工程が見直された瓦礫処理

一層の対応力が求められる瓦礫処理に尽力。 そして、一日も早い「復興」に向けて——。

これまで小誌でも度々お伝えしてきましたが、東日本大震災の被災地では未だ瓦礫処理などの復旧工事が続いています。岩手・宮城・福島県の被災3県の沿岸市町村における瓦礫処理の進捗状況は下表のとおりです。環境省は当初、2014年3月までの処理完了を目標としていました。しかしこの5月、岩手・宮城両県については目標どおりの処理が可能としたものの、福島県については処理完了が困難になったと目標の見直しを発表。今夏をめどに新しいスケジュールが示される予定です。当社は一日でも早く瓦礫処理を終了できるよう一層努めるとともに、同時に進められている社会インフラの復興工事を加速させるべく、引き続き各地の需要への対応に尽力してまいります。■

■ 3県沿岸市町村における災害廃棄物等の処理状況（2013年4月末現在）

	災害廃棄物(千トン)			津波堆積物(千トン)		
	推計量	撤去済み量(撤去率)	処理量(処理率)	推計量	撤去済み量(撤去率)	処理量(処理率)
岩手県	3,800	3,573(94%)	1,993(52%)	1,453	1,341(92%)	279(19%)
宮城県	10,456	9,795(94%)	7,371(71%)	6,879	5,755(84%)	3,329(48%)
福島県	1,727	1,456(84%)	733(42%)	1,845	1,254(68%)	160(9%)
合 計	15,982	14,825(93%)	10,098(63%)	10,177	8,349(82%)	3,767(37%)

※環境省:2013年5月31日発表「災害廃棄物等処理の進捗状況(3県沿岸市町村)」を基に作成

復旧・復興工事フォトレポート

現地の状況をお伝えするためフォトレポートを設けました。今回は岩手県と宮城県での復旧・復興工事の写真を掲載いたします。

岩手県

宮古市



急ピッチで進められる瓦礫処理

釜石市



漁港の復旧工事

大船渡市



三陸鉄道南リアス線の復旧工事

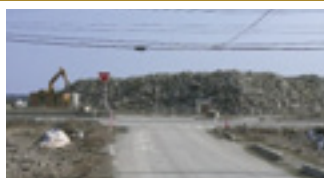
陸前高田市



宅地の高台移転

宮城県

南三陸町



瓦礫は集積場(写真左)に集められ、瓦礫撤去は80%ほど進捗



女川町



宮城でも着々と進む瓦礫処理



女川漁港の復旧工事現場

第49期第2四半期事業報告書 [平成24(2012)年11月1日から平成25(2013)年4月30日まで]

●連結経営成績(累計)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期(当期)純利益 (百万円)	EPS (円)
第49期第2四半期	54,733 (36.8)	6,751 (89.9)	6,714 (103.6)	3,716 (109.2)	113.20
第49期第2四半期予想 (前回発表予想値)	51,240 (28.1)	4,580 (28.9)	4,110 (24.6)	1,970 (10.9)	60.00
(ご参考)					
第48期第2四半期実績	40,012 (13.3)	3,554 (106.1)	3,297 (134.1)	1,776 (—)	54.10

●連結業績予想

第49期通期予想	103,410 (20.1)	9,570 (48.8)	9,230 (55.6)	4,530 (26.7)	137.98
第49期通期予想 (前回発表予想値)	99,150 (15.1)	7,120 (10.7)	6,510 (9.7)	3,190 (△10.8)	97.16
(ご参考)					
第48期通期実績	86,106 (21.1)	6,430 (121.3)	5,932 (164.9)	3,575 (206.7)	108.88

(注1)売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益における括弧内の数字は、前年同期増減率(%)を示しております。

(注2)「前回発表予想値」は、2012年12月7日に公表した予想数値です。

■セグメント別売上高および売上比率(連結)



93.9% 建設関連事業 51,420百万円 (前年同期比 39.2%増)

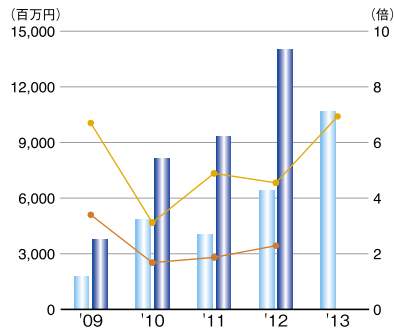
6.1% その他の事業 3,313百万円 (前年同期比 8.0%増)
(鉄鋼関連事業・情報通信関連事業など)

グラフで見る5年間(連結)

■ = 第2四半期累計 ■ = 期末 — = 第2四半期累計 — = 期末

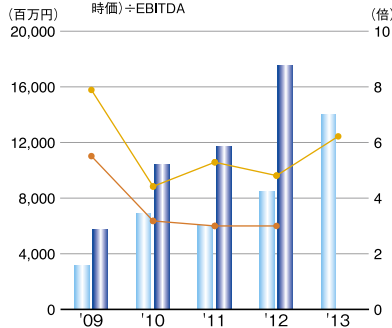
キャッシュフロー

株価キャッシュフロー倍率(PCFR)
CF=当期純利益+減価償却費-(配当+役員賞与)
PCFR=株式時価総額÷CF=株価÷1株当たりCF



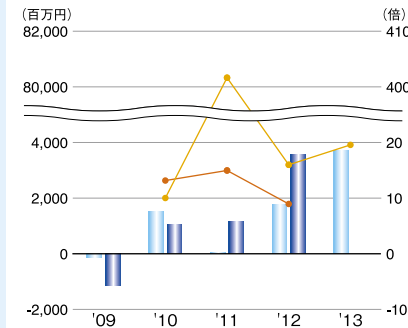
EBITDA(減価償却前営業利益)

EBITDA倍率
EBITDA=営業利益+減価償却費
EBITDA倍率=(期末株式時価総額+有利子負債-期末非営業資産
時価)÷EBITDA



当期純利益

株価収益率(PER)
PER=期末株式時価総額÷当期純利益



09年10月期累計期間のPERは、当該期間に純損失を計上したため、表示しておりません。

【経営環境】

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、金融・経済政策への期待感に起因する円安株高を背景に穏やかな回復基調が見られました。一方、欧州債務問題の継続や中国・米国をはじめとする海外経済の回復の遅れ、円相場の上昇、原油価格の高騰など景気後退リスクへの不安感は払拭できず、依然として景気の先行きは不透明な状況でありました。

【第2四半期の連結業績】

当社グループが関連する建設業界におきましては、いわゆる15ヶ月予算が進行しており、被災地域を中心とした震災復旧・復興工事や全国的な防災・減災工事等の公共工事を中心に政府建設投資は増加基調となり、また民間投資も明るい兆しがみられる一方で、建設技能労働者不足や労務費の高騰、入札不調や着工遅延などの懸念材料も抱えた状態でありました。

このような状況の中、当社グループでは、総合的な企業活力の充実を図るべく、グループ企業との連携、アライアンス企業との取引強化を進め、グループ全体でのシナジー効果を発揮できる体制の構築を進めました。また、現行業務プロセスの徹底的な分析・改善・効率化を進め総合的なコスト削減を念頭に、収益強化へ向けた体制構築にも取り組んでまいりました。

これらの結果、2013(平成25)年10月期第2四半期の連結売上高は547億33百万円(前年同期比36.8%増)となりました。利益面につきま

しては、営業利益は67億51百万円(同89.9%増)、経常利益は67億14百万円(同103.6%増)、また、四半期純利益は37億16百万円(同109.2%増)となりました。

【セグメント別の業績】

建設関連事業

当社の主力事業である建設機械レンタル関連事業におきましては、震災被災地域での復旧・復興工事や除染関連工事、沿岸部護岸工事や地盤改良工事、道路関連の維持メンテナンス工事、全国各地での防災・減災工事や首都圏を中心とした大型プロジェクトなど拡大するレンタル需要や各種現場のニーズに的確に対応すべく、積極的に資産の増強や適正な資産配置などグループ全体で対応力の強化に努めました。同事業における地域別売上高の前年同期比は北海道地区14.4%増、東北地区39.7%増、関東地区76.3%増、近畿中部地区59.3%増、九州沖縄地区14.1%増と全地区で大きく伸長いたしました。

なお、前年同期比で大幅な伸長のあった関東地区や近畿中部地区は主にユナイト株式会社が連結に加わったことが影響しております。また、海外向け中古建機販売につきましても、海外からの需要増と急激な円安による値戻しもあり、同9.3%増となりました。

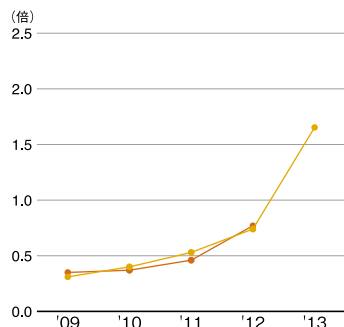
以上の結果、建設関連事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は514億20百万円(前年同期比39.2%増)、営業利益は65億57百万円(同92.2%増)となりました。

グラフで見る5年間(連結)

■ = 第2四半期累計 ■ = 期末 — = 第2四半期累計 — = 期末

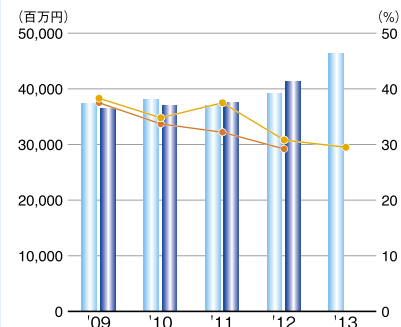
株価純資産倍率(PBR)

$PBR = ROE \times PER$



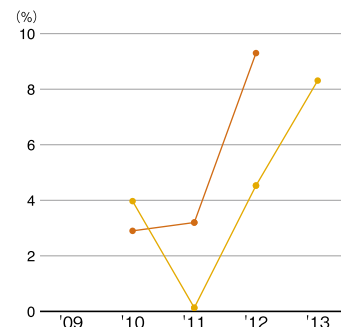
純資産 自己資本比率

自己資本比率 = 自己資本 ÷ 総資産



自己資本利益率(ROE)

$ROE = \frac{\text{当期純利益} \div \text{自己資本}}{\text{株当たり当期純利益 (EPS)} \div \text{株当たり純資産 (BPS)}}$



09年10月期累計期間のROEは、当該期間に純損失を計上したため、表示しておりません。

その他の事業

北海道で展開する鉄鋼製品販売事業については、震災復興現場向けや道央圏での販売が比較的堅調に推移したことや鋼材相場の値上げ等もあり売上高は前年同期比9.3%増となりました。一方、情報通信関連その他事業ではパソコンレンタル需要や人材派遣とともに計画通り推移し同0.8%増となりました。

以上の結果、その他の事業の当第2四半期連結累計期間の売上高

は33億13百万円(前年同期比8.0%増)、営業利益は63百万円(同0.8%減)となりました。

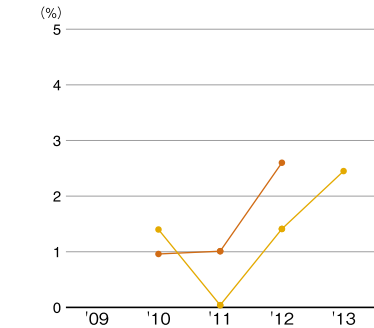
[特記すべき事業展開と拠点新設閉鎖の状況]

同一敷地内で取扱品目により区分しておりました首都圏高所営業所、新木場営業所を業務効率化のため、東京中央営業所として統合いたしました。

業績予想の修正理由(抜粋) 5月31日付で業績予想の修正発表をいたしました。

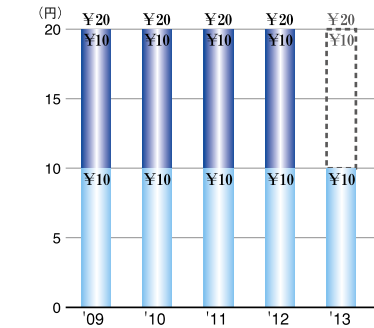
通期業績予想につきましては、被災地域での復興工事が上半期同様の水準で推移すると見られること、補正予算成立により全国的な防災対策工事や老朽化インフラの維持補修工事の施工や、エネルギー関連を中心とした民間建設需要も増加傾向にあるなど、一部で工事施工従事者不足や資材不足に起因する着工遅延等の懸念要因は残るものの、今後も総じて建設機械のレンタル需要は旺盛と予想されることから業績修正をするものであります。

総資産利益率(ROA) ————
ROA=当期純利益÷総資産



09年10月期累計期間のROAは、当該期間に純損失を計上したため、表示しておりません。

1株当たり配当 ■■■■■=期末予想



■ 連結財務諸表

連結損益計算書(累計)

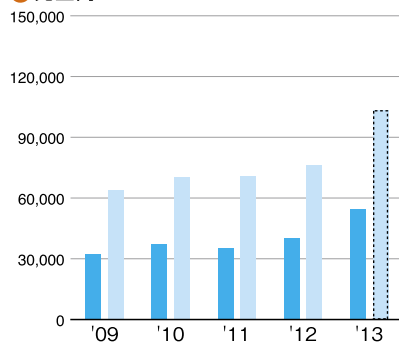
(単位:百万円)	第48期第2四半期 (2011.11.1～2012.4.30)	第49期第2四半期 (2012.11.1～2013.4.30)
① 売上高	40,012	54,733
売上原価	27,504	37,016
売上総利益	12,507	17,717
販売費及び一般管理費	8,953	10,966
② 営業利益	3,554	6,751
営業外収益	271	486
営業外費用	528	523
③ 経常利益	3,297	6,714
特別利益	50	55
特別損失	45	24
税金等調整前四半期純利益	3,302	6,745
法人税、住民税及び事業税	1,627	2,863
法人税等調整額	△128	△179
少数株主損益調整前四半期純利益	1,803	4,062
少数株主利益	27	345
④ 四半期純利益	1,776	3,716

連結包括利益計算書(累計)

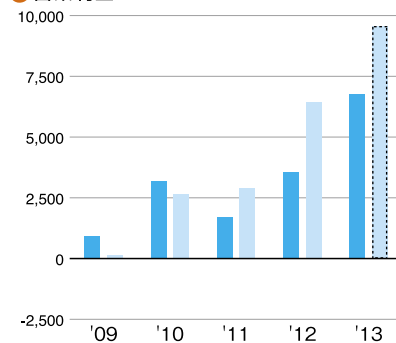
(単位:百万円)	第48期第2四半期 (2011.11.1～2012.4.30)	第49期第2四半期 (2012.11.1～2013.4.30)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,803	4,062
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	190	1,010
為替換算調整勘定	13	139
その他の包括利益合計	203	1,150
四半期包括利益	2,007	5,212
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,967	4,841
少数株主に係る四半期包括利益	39	370

■ 第2四半期 ■ 通期 ■ 予想値 単位:百万円

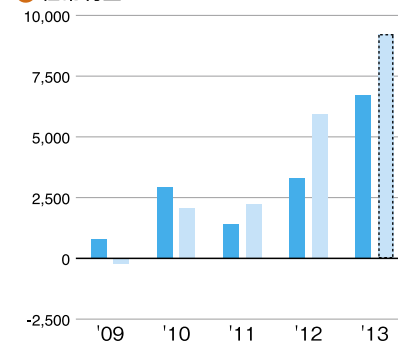
① 売上高



② 営業利益



③ 経常利益

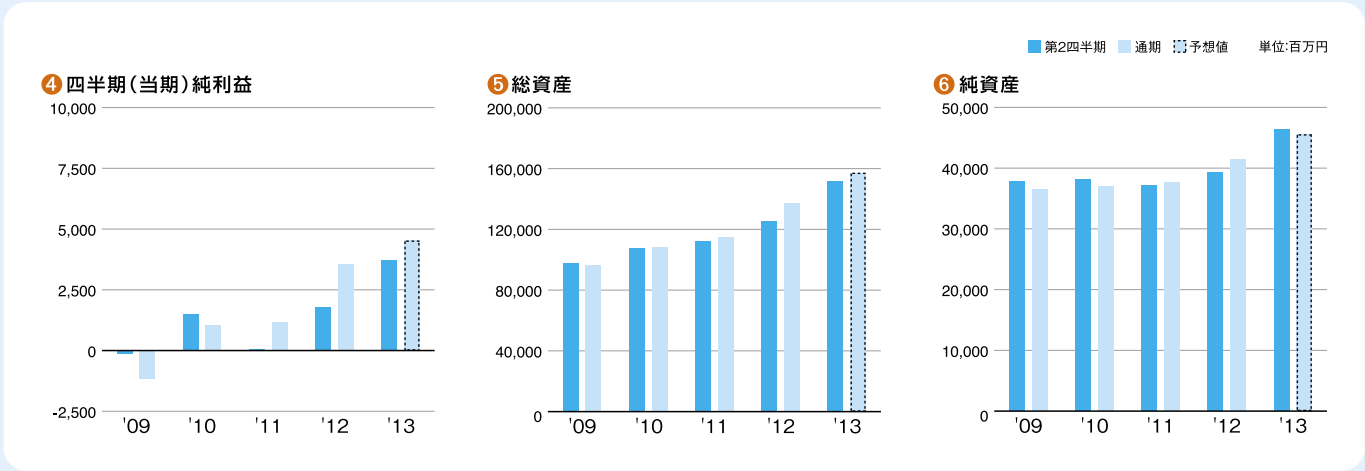


連結貸借対照表

(単位:百万円)	第48期第2四半期 (2012.4.30)	第49期第2四半期 (2013.4.30)
(資産の部)		
流動資産	44,805	54,808
固定資産	80,791	96,860
有形固定資産	75,362	89,939
無形固定資産	282	416
投資その他の資産	5,146	6,504
⑤ 資産合計	125,597	151,668
(負債の部)		
流動負債	41,912	49,174
固定負債	44,457	56,118
負債合計	86,370	105,292
(純資産の部)		
株主資本	38,360	43,318
資本金	9,696	9,696
資本剰余金	10,960	10,960
利益剰余金	17,729	22,697
自己株式	△26	△36
その他の包括利益累計額	347	1,402
その他有価証券評価差額金	389	1,341
為替換算調整勘定	△41	60
少数株主持分	519	1,655
⑥ 純資産合計	39,227	46,376
負債純資産合計	125,597	151,668

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	第48期第2四半期 (2011.11.1～2012.4.30)	第49期第2四半期 (2012.11.1～2013.4.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,562	11,198
投資活動によるキャッシュ・フロー	△226	△159
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,027	△4,796
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	88
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,314	6,332
現金及び現金同等物の期首残高	20,374	19,717
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△32	—
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△4
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,657	26,045



株主様からのご質問に答える

Q & A コーナー

いつもアンケートハガキをご返送いただきありがとうございます。皆様から頂戴したご質問にお答えするのがこのQ&Aコーナーです。

ご意見、ご要望がございましたら、巻末のハガキにご記入のうえ、ご返送ください。

Q カナモトの新卒採用の状況について教えてください。新人研修の内容なども知りたいと思います。

A 2013年度は76名の新卒者を採用しました。これは近年で最も多い採用人数で、東日本大震災の復旧・復興工事にともなって増加している需要に対応するためです。また、当社は都市圏・未出店エリアへの拠点展開、海外展開にも注力しているため、当年度のような採用規模を考えています。

当社の選考では、受験者にエントリーシートを課してふるいにかけることはせず、志望者全員と面接しています。それは、当社が志望者一人ひとりを見定めるだけでなく、志望者にもカナモトという会社を見極めてほしいからです。インフラ整備や災害復興といった建設をサポートする仕事は、人々の生活を支える社会貢献度が大きい仕事ですので「建機レンタル」という仕事について、より深く理解してほしいと考えています。

新入社員研修は職種によって期間が異なりますが、最長約3週間のカリキュラムで行っています。建機レンタル業界や主要取引業界に関する知識のほか、営業職・技術職といった職制ごとの業務内容、内部統制・安全衛生など社会的責任を果たす上での基本も学びます。また、各種機械の操作技術や、性能維持に欠かせない整備技能を習得する実技研修も実施。こうした様々な講義と実習を経て新入社員は配属地へ赴任し、現地でも研鑽を積んでいくことになります。

当社は優秀な人材こそが持続的成長の推進力になると考えているため、新人研修はもちろん、社員がさらにスキルを磨くための人材育成・開発プログラムも実施しています。特に技術職はメンテナンスに際し多くの資格が必要になるため、社内では技術研修を行うほか、各メーカー主催の研修会参加や、整備・操作資格の取得を奨励する社内教育制度を拡充し、社員をサポートしています。

お近くに、これから社会に出ようとされる方がいらっしゃいましたら、ぜひ「カナモト」をご紹介いただきますようお願いいたします。☑



社内業務、内部統制や安全衛生などについて学ぶ講義



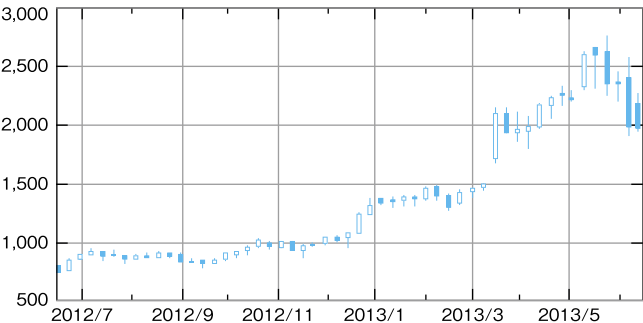
クレーンなどの基本的な操作技術や建機の安全管理、機能維持のための整備技術を学ぶ実習



株価及び売買高 (東証分のみ。単位：円、出来高は千株)

	始 値	高 値	安 値	終 値	出来高
2012 年 6 月	781	899	733	896	4,370
7 月	900	942	824	892	3,906
8 月	891	919	841	843	2,562
9 月	843	915	791	909	4,765
10 月	901	1,032	843	973	9,594
11 月	972	1,047	875	1,047	7,306
12 月	1,042	1,380	965	1,321	6,945
2013 年 1 月	1,379	1,461	1,300	1,454	8,653
2 月	1,455	1,481	1,278	1,450	7,885
3 月	1,452	2,149	1,447	1,965	14,563
4 月	1,957	2,327	1,806	2,252	9,762
5 月	2,252	2,763	2,210	2,371	9,869

株価チャート (週足)



株主メモ (2013年4月30日現在)

資 本 金 96億9,671万円(払込済資本金)
発 行 株 数 32,872千株(発行済株式の総数)
事 業 年 度 11月1日から翌年10月31日まで
株 主 総 会 毎年 1 月 中
同総会議決権行使株主確定日 毎年 10月31日
期末配当金受領株主確定日 毎年 10月31日

中 間 配 当 金 受 領 株 主 毎 年 4 月 30 日
確 定 日 公 告 の 掲 載 当 社 ホーム ページ、日本経済新聞*
*当社公告の掲載につきましては、当社ホームページに掲載いたします。
ホームページのURLは下記のとおりです。
<http://www.kanamoto.co.jp> または <http://www.kanamoto.ne.jp>
なお、やむを得ない事由により、ホームページに公告を掲載することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人及び特
別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 場 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
同 郵 便 物 送 付 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
及 び 電 話 照 会 先 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

株式に関する各種手続きについて

- (1)株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2)特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3)未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

● 編集後記 ●

当第2 四半期決算も大幅な増収増益。各位には「で、上方修正は何時?」との質疑を辟易とされつつ多くいただきました。確かに震災三県では復旧工事のほか、がれき撤去工事は未だに続いていますし、全国で強靱化計画も着々と進行してます。お盆過ぎには震災の復興工事が本格的に着工になる気配と、先行きは止め処もなく明るいのですが、建設業界の人手不足から工事遅延が懸念されており、あのような予想をせざるを得なかった次第。今日、下版直前に、とあるスーパーゼネコンさんに直接お聞きすることができました。OB が仕事に復帰して頑張られているとのこと。安い給料だけとおっしゃいながら、モノづくりに徹して来られた方の気概が、背中越しに溢れて見えました。なるほど、かつての就職氷河期に形成された世代の欠落というクレバスを埋めて余りある、知性あふれる団塊の世代の方々が一杯いらっしゃるじゃありませんか。少々のことですぐに批判めいた報道に走るのはいやめて、「国を守る・国を強くする」ために、老若男女一丸となって頑張りましょう。カナモトグループも総力を挙げてお手伝いせねば。ところで、表紙の坊やの一言、「もちよこい」は、北海道と青森で使われてる方言で、くすぐったいという意味。ボディペインティングって毛穴がふさがるから、ホントは暑いと思うんですがね、もう案がなくて…。てへべろ(・ω<) 



本誌は、再生紙と
ベジタブルオイルインキを使用しております。



株式会社 **カナモト**

(東証一部・札幌 証券コード9678)

〒060-0041 札幌市中央区大通東3丁目1番地19

Tel: (011) 209-1600 (大代表)

www.kanamoto.co.jp